

2015年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	電気通信工学科						
科目名	組み込みシステム						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年前期		
必修・選択の別	必修科目(組み込みシステムコース)/必修科目(電気エネルギーコース)/必修科目(情報システムコース)						
担当者	松崎 隆哲						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組み込みシステムの基本的な構成要素を理解する。(B7)</li> <li>・組み込みシステムにおけるハードウェアとオペレーティングシステムの役割を理解する。(B7)</li> <li>・オペレーティングシステムのプロセスやスケジューリング手法について理解する。(B7)</li> <li>・オペレーティングシステムの例外・割り込み処理について理解する。(B7)</li> </ul>						
日程と内容	4/8 導入講義、組み込みとは？ 4/15 組み込みの現状と利用範囲 4/22 組み込みのソフトウェアとは 4/25 プログラム管理 (マルチタスク) 5/13 プロセス管理 (プロセス、スケジュール) 5/20 プロセス間通信 (セマフォ、排他制御) 6/3 例外と割り込み処理 (ハードウェア機能) 6/6 例外と割り込み処理 (OS機能) 6/10 メモリ管理機構 6/17 メモリ管理機構 (仮想メモリ・実メモリ) 6/24 メモリ管理機構 (仮想記憶) 7/1 開始・終了と障害対処 7/8 プロセッサ周辺インターフェース 7/15 総合演習 7/22 総合演習 7/29 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習	30%					
授業到達目標の達成度	合格者によっては理解度に差があると思うが、合格者は授業の到達目標を達成しているといえる。						
反省点	演習科目として論理回路演習がセットになっていることから、授業では自分で問題を解くことで理解をする方針であったが、自身で十分に学習をしていたかという点では多少不足しているようであった。						
来年度の計画	授業中に解く問題、提出問題、自学自習問題などを取り入れることで、学生が自学自習に取り組めるようにしていきたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	受講している学生が変わっていることからある程度の目安であるが、過去2年と比べてアンケート項目の評価が多少持ち直している。 総合評価(8.6 → 8.0 → 8.2)、理解度(4.2 → 3.8 → 3.9)、わかりやすかったか(4.3 → 3.9 → 4.1)、時間外学習(3.4 → 3.7) 組み込みシステムの実例を例示しながら、説明などを工夫していく必要があると思われる。また、自学自習(授業外の予習・復習)で週1時間未満が42.9%となっているので、自学自習をして理解度を増すような演習も検討したい。						
履修登録者数	40名	定期試験 受験者数	37名	合格者数	30名	合格率	81%